

科目名 (Eng)		環境工学 (Environmental Engineering)								
担当教員		高荒智子								
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
		建設環境工学科	5	期	必修	1	15	専門	A	学修単位
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-2). (A-4). (B-4).									
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2).									
		JABEE基準1(1)との対応：(a). (b). (d)-(1).								
授業の概要と方針		廃棄物処理やリサイクルに関する法律を踏まえた、廃棄物の発生抑制，再利用，再生利用について学ぶ								
到達目標		①循環型社会形成の理念を理解し，その仕組みを理解する ②核廃棄物の処理方法やリサイクル技術を学ぶ ③建設廃棄物の現状を理解し，再資源化や処理方法について理解する								
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習			
前期	1	循環型社会形成の背景	基本理念							
	2	廃棄物の現状と法律	一般廃棄物と産業廃棄物				循環型社会形成の背景			
	3	廃棄物の分析・測定	物理化学特性など				廃棄物の現状と法律			
	4	ゴミ処理システム	計画～収集				廃棄物の分析・測定			
	5	燃焼1	燃焼工学の基礎				ゴミ処理システム			
	6	燃焼2	資源化，サーマルリサイクルなど				燃焼1			
	7	中間試験								
	8	リサイクル	リサイクル技術							
	9	リサイクル	プラスチックなど				リサイクル			
	10	建設廃棄物	処理技術など				リサイクル			
	11	粗大ごみと不燃ごみ	破砕～処理				建設廃棄物			
	12	埋立処分1	機能と構造				粗大ごみと不燃ごみ			
	13	埋立処分2	維持管理など				埋立処分1			
	14	有害廃棄物	特性や規制など				埋立処分2			
	15	まとめ	これまでのまとめ				有害廃棄物			
試験について		前期中間試験，前期試験を実施する								
評価方法		定期試験の成績70%，課題などの提出物30%として総合的に評価する								
教科書		配布資料								
参考書										
関連科目										
履修上の注意		社会の動向などにも注意して，自主学習に取り組むこと．廃棄物問題に対する自分なりの考えを持てるようにして欲しい								